


●INDEX

リトル・コミュニティを支える人々	1
加賀美 太記	
巻頭言	5
都市において農業を行う意義はどこにあるのか?	菊地 俊夫
特集 リトル・コミュニティの社会経済学	6
●リトル・コミュニティの経済 ～沖縄の離島と自立～	石原 修
●共同店を中心にしたコミュニティのあり方	山野 薫
●まちづくり、健康づくり、 絆づくりも含めた総合的・包括的医療へ	
～離島の利点を活かす奄美医療生活協同組合～	青木 美紗
●食と農をつなぐ取組みからみるリトル・コミュニティ	
～生活協同組合「熊本いのちと土を考える会」の活動から～	片上 敏喜
●小さなエネルギー革命	
～協同組合による小水力発電所を訪ねて～	杉本 貴志
争論 地域の雇用を協同組合が守れるのか、つくれるのか?	39
非営利組織・協同組合への期待と不安	竹信 三恵子
歴史と海外の経験から見る「協同組合労働」の意味	中川 雄一郎
くらしと協同の本	62
『里山資本主義』藻谷浩介 著	高田 晋史
『農業を買い支える仕組み』辻村英之 編	北川 太一
『幸せに暮らす集落』ジェフリ・S・アイリッシュ 著	熊崎 辰広
投稿規定	68
バックナンバー／編集後記	69



表紙紋様 「虚無僧の紋様」  
田内隆司／京小紋画像提供 (田内設計事務所)

江戸時代、徳川家康により全国を自由に往来することが許された虚無僧は、深編笠に尺八という出で立ちで、全国を行脚して廻りました。この紋様は、虚無僧が雪の中、尺八を奏でながら練り歩く様子が描かれたものです。虚無僧により、町々、村々の様々な情報が全国にもたらされ、小さなコミュニティの間の情報交換が行われていたと推測されます。地方の地産情報が全国に発信され、地域の活性化に繋がっていくでしょう。